自己点検・自己評価報告書

平成 30 年 7 月 31 日現在

明治東洋医学院専門学校

平成 30 年 7 月 31 日作成

目 次

基準 1	教育理念·目的·育成人材像等1
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか2
1-2	学校の特色はなにか3
1-3	学校の将来構想を抱いているか4
基準 2	2. 学校運営5
2-4	運営方針は定められているか6
2-5	事業計画は定められているか
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか8
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか9
2-8	意思決定システムは確立されているか11
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか12
基準3	3 教育活動
基準3	
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材
3-10 =-	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材 ズに向けて正しく方向付けられているか14
3-10 =- 3-11	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材 ズに向けて正しく方向付けられているか14 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、
3-10 二一 3-11 業界	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材 ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業界 達す	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材 ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業界 達す 3-12	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材 ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業界 達す 3-12 3-13	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業産す 3-12 3-13 か	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材 ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業界 3-12 3-13 か	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業界 3-12 3-13 か 3-14 3-15	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ズに向けて正しく方向付けられているか
3-10 ニー 3-11 業界 3-12 3-13 か 3-14 3-15	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ズに向けて正しく方向付けられているか

24	教育成果	基準 4
¥ = 711	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門の) か	4-18
	ッパーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	4-19
	退学率の低減が図られているか	4-19 4-20
	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を	1 = 0
心旌しているか28	卒業生・住牧生の任芸的な店 雄 及い評価を	4-21
29	学生支援	基準 5
	就職・進学指導に関する体制は整備され、	5-22
30		
	学生相談に関する体制は整備され、有効に	5-23
整備され、有効に機能し	学生の経済的側面に対する支援が全体的に	5-24
	ろか	ている
効に機能しているか.33	学生の健康管理を担う組織体制があり、有	5-25
効に機能しているか.34	課外活動に対する支援体制は整備され、有	5-26
	学生寮等、学生の生活環境への支援は行わ	5-27
36	保護者と適切に連携しているか	5-28
37	卒業生への支援体制はあるか	5-29
38	教育環境	基準 6
できるよう整備されてい	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応	6-30
39		るか
	学外実習、インターンシップ、海外研修等	6-31
40	帯しているか	を整備
41	防災に対する体制は整備されているか	6-32

基準7	学生の募集と受け入れ	43
7-33 7-34 7-35 7-36	学生募集活動は、適正に行われているか 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 学納金は妥当なものとなっているか	.45 .46
基準8	D.L. 7/m	40
本十り	財務	48
8-37	財務 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	
		.49
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	.49 .50

基準 9	法令等の遵守	. 53
9-42	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	55
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 自己点検・自己評価結果の公開はしているか	
基準 1	O 社会貢献	. 58
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	59

基準 1 教育理念 • 目的 • 育成人材像等

点検大項目総括

特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

本校では、「人と人との和」「人と自然との調和」「東洋と西洋の融和」の三つの「和」を建学の心とし、医療人の育成に努めている。

本校の目的について、学則第3条により「学校教育法及びあん摩マッサージ 指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律並びに柔道整復師法に基づき、は り師、きゅう師又は柔道整復師に関する知識及び技能を教授し、もって現代 に立脚した合理的思考のできる有資格者を養成するとともに国民の健康保 持・増進に寄与する有為の人材を育成すること」、「あん摩マッサージ指圧師、 はり師、きゅう師に係る学校養成施設の教員を志望する者に対し、教員とし て必要な高度の専門教育を施し、すぐれた教員を養成し、もって学校養成施 設における教育の充実、向上に寄与すること」と定めている。

これらの達成のため、講義、実技、実習を通じ次の教育目標を掲げている。

- ・施術者として必要な基本的治療ができる知識・技術・態度を修得する。
- ・医療人として信頼・尊敬される人格を形成する。
- ・科学的・合理性のある考え方を修得する。
- ・社会の要請に即した医療人を育成する。

これらの教育理念、目的、人材育成像について、学校案内、学生便覧、ホームページ等にて情報を発信し、学内外に広く周知されるよう努めている。

「和の精神」を真髄となし、東西両医学を有機的に関連づけて、社会および 国民の医療に貢献できる真の医療人を育成することに他なく、「人と人との 和・人と自然との調和・東洋と西洋の融和」を掲げ、これを成し遂げていく。 専修学校の目的は、「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養 の向上を図る」としており、専門的職能と医療人として相応しい人間性を育 むため、実技教育と人間教育を重視している。

最終更新日付 2018 年 7 月 31 日 **記載責任者** 藤井 義巳

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 方針	イ・現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行 う理念・目的・育成人 材像などが、明確に定 められているか	本校は医療人を養成することから、その理念、目的、育成人材像は、解りやすい表現で、明確に定められるべきである。	学生便覧、学則第3条に明確に定めている。		学則 学生便覧
1-1-2 理念・目的・育成 人材像を実現するため の具体的な計画・方法 を持っているか	講義、実技及び臨床実習を通じ、医療 人としての人格の形成に努めるべきで ある。	実技実習を通じ、医療に携わるもののコミュニケーション能力、倫理観、態度の修得に努めている。		
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	理念は時代を超えて普遍的なものであることから、原則、変更することはない。しかしながら、教育目的は社会状況の変化を考慮し、カリキュラム、授業内容については、社会状況を鑑み対応しなければならない。	平成29年4月の法改正に基づき 教育課程の変更及び臨床実習の 連携機関の検討、学則変更の承認 申請に取り組み、承認を受けてい る。		
1-1-4 理念・目的・育成 人材像等は、教職員に 周知され、また学外に も広く公表されている か	理念、目的、育成人材等について、教 職員並びに学生だけでなく、広く学外 にも周知させるべきである。	学内においては、教員会議、学生 便覧等で周知をはかり、また、学 外においては、ホームページ、学 校パンフ等で広く公表している。		学則 学生便覧 明治東洋医学院専門学 校ホームページ

30,212 100 000 teles	
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
理念・目的・育成人材像について、明確に定め、学内外に周知する。	教育理念等については開講以来今もなお変更することなく引き継がれ、カリキュラム等については、H29年4月の法改正をうけ、教育課程の改善、臨床実習の充実に取り組んでいる。

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳
	_010 1/1 01		74571 324

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	ア 方針	イ・現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	常に教育課程の充実に努め、社会のニーズに対応できる医療人、教育者を育成する。 国家資格取得、100%を目標とする。 医療機関、スポーツ現場、附属治療所、介護施設等との連携を強化し、臨床実習の充実(早期体験→見学→補助→践)に努める。 医療資格に加え、JATAC認定アスレティックトレーナー、JSTA認定アストーツアロマトレーナー、JAA認定アコーディネーター等の資格の取得も可能である。	各学科とも実技・実習を重視した技術、知識の修得ができていると明婚を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を	昨今の多様学習経験では、学生の多様学習経験では、学校、学習を選手的、存後のでは、生活のの学者をでは、ないの学者をできまれば、のでは、というでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	明治東洋医学院専門学校ホームページ学生募集パンフレット

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校では、充実した臨床実習ができるよう、実技教育を重視しており、学年 毎に、技術の到達基準を設け、総合実技試験等の実施により、評価を実施し ている。	

最終更新日付 2018 年 7 月 31 日 **記載責任者** 藤井 義巳

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想 を描き、3~5 年程度先 を見据えた中期的構想 を抱いているか	学校法人明治東洋医学院として、中長期計画を策定する。その中で学校の将来構想の基本方針は、次のとおりである。 ① 優れた人材を確保し、専門学校の役割である職能教育の徹底化とブランド化を進める。 ② 臨床教育の一層の充実をはかるため、新たな臨床実習施設の確保を進める。 ③ 上記の構想を達成するためには、教員の資質向上が重要であり、そのために大学との人事交流と及び組織的な研修制度を構築し、実施する。	本校は、姉妹校に明治国際 医療大学(鍼灸学部、保健医療大学(鍼灸学部、看護学部)を有し、 また、大学には附属病院、て、 学院博士課程を開設として、 学院博士課程を開設としてて、 学院博士課程を開設としてて、 学院博士課程を開設としてて、 学院博士課程を開設として、 事間かる。 実を図ってオンモールのの 実を図っている。 更に、平成30年3月末には属 事門学校校地内に大学京都 で、平成30年3月末には属 の、中ので出より移転し、実習施 で、実習施設の で、実習を関いている。	の充足が大きな課題である。 新学科の設置、専門職大学へ の移行等の検討を進めてい るが、具体的な方向は決定し ていない。 施設の整備等については、学 院として、中期的な計画に取	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生定員の充足にむけて、教職員全員が情報を共有し、目前の大きな課題に 取り組まなければならない。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

基準2 学校運営

占烩士佰日総任	特別東頂(特徴・特色・特殊が事構等)
	付記争場(付限・付じ・付添な争用寺/
点検大項目総括 学校運営について、毎年度、学院全体として捉え、大学、附属病院、専門学校等の部門ごとに事業計画書を作成し、理事会、評議員会の承認を得て、実施している。 学校運営組織としては、毎月、部長以上で構成される管理運営会議、専任教員で構成される教員会議、各種委員会を開催し、学校運営、教育の充実に取り組んでいる。	

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標 に基づき、学校運営方 針は明確に定められて いるか	学院評議員会、理事会において承認された事業計画、予算に基づき、運営する。	毎年度、承認された事業計画 書に基づき、運営している。	入学定員の充足率の改善が 目前の大きな課題であり、カ リキュラム内容、教授方法等 を含め、問題点の改善に努め る。	平成 29 年度事業計画書
2-4-2 学校運営方針は きちんと教職員に明示 され、伝わっているか	学院評議員会、理事会において承認された事業計画について、教職員全員に 告知する。	毎年度4月1日に学校教職員 全員に対し、教職員連絡会を 開催し、当該年度の運営方針 について、説明会を実施し、 周知徹底を図っている。	教職員間の意思疎通をはか るため、定期的な意見交換を 実施する必要がある。	平成 29 年度事業計画書
2-4-3 学校運営方針を 基に、各種諸規定が整 備されているか	社会の状況に応じ、必要とされる規程の改善、整備を実施する。	学院規則は、常務理事会において、社会の状況に応じ常に整備を行っている。また、学校における各種規程については、管理運営会議において必要に応じ見直しを実施している。		学校法人明治東洋医学院規則集 明治東洋医学院専門学校規程集

	3 5.日地 2. (人と)ない 1.はこんと連んでいない 1VII.当ではよりない
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年度作成している事業計画書は、学院評議員会、理事会において承認されており、この事業計画書に基づき、当該年度の学校予算運営方針を定めている。 周知は、毎年度4月1日に実施する教職員連絡会において徹底する。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標 を達成するための事業 計画が定められている か	年度毎に詳細な事業計画を定め、学院 評議員会、理事会にて承認を得る。	毎年度、部門毎に事業計画書 を作成し、評議員会、理事会 において承認を受け、遂行し ている。	集活動に取り組んでいるが、	
2-5-5 学校は事業計画 に沿って運営されてい るか	全教職員の周知徹底をはかり、事業計画に基づき、運営を行うよう努める。	事業計画書に基づき学校運営が遂行されたかどうかについて、事業報告書により取り纏めている。		平成 29 年度事業計画書平成 29 年度事業報告書

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年度、部門毎(学校、大学、附属病院)において事業計画書並びに事業報告書を作成している。事業計画書は常務理事会において精査され、学院評議員会、理事会において承認を受けている。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	学院の組織及び運営に関する規則に基づき、運営組織図を明確化する。	学校法人明治東洋医学院の 組織及び運営に関する規則 に基づき、運営組織図を作成 している。		学校法人 明治東洋医 学院組織及び運営に関 する規則
2-6-7 運営組織や意思 決定機能は、学校の目 的、目標を達成するた めの効率的なものにな っているか	学院の組織及び運営に関する規則に基 づき、速やかな意思決定と効率的な運 営を目指す。	学院の組織及び運営に関する規則及び組織図に基づき、 指示命令系統が明確にされており、効率的な運営の実施 に取り組んでいる。		学校法人 明治東洋医 学院組織及び運営に関 する規則
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	学院の組織及び運営に関する規則の職務、事務分掌に基づき、明確化する。	学院の組織及び運営に関す る規則の職務、事務分掌に基 づき、明確に定められてい る。		学校法人 明治東洋医 学院組織及び運営に関 する規則

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学院の組織及び運営に関する規則に基づき、組織運営を遂行している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 方針	イ・現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要 な人材の確保と育成が 行われているか	1. 学校運営の状況により、必要な人材を確保し、配置する。 2. 定期的な FD、SD 研修により、人材育成を実施する。 3. 関連学会に入会を勧め、専門的な知識・技能の修得を支援する。	学校運営の状況を加味し、法人本部人事課において人員の確保及び配置を行っている。 人材の育成、研修については、次のとおりである。 ①加盟している公益社団法人東洋療法学校協会及び全国柔道整復学校協会主催の教員研修会への参加や外部講師を招き、組織的な研修会を実施している。 ②関連する学会に参加し、オーラル発表等を実施している。	新たな人材の確保は厳しいことから、配置している教職員の積極的な研修会への参加等により、知識、技術の向上に取り組	
2-7-10 人事考課制度は 整備されているか	人事考課制度により、客観的かつ公平 な人事考課を実施する。	法人本部で作成された目標管理 シートに基づき、人事考課を実施 している。	個人レベルの目標管理と なってしまい、学校の事 業計画に基づいた目標管 理と捉えられていない。	
2-7-11 昇進・昇格制度 は整備されているか	人事考課制度により、昇進、昇格について客観的かつ公平に実施する。	法人本部で作成された目標管理 シートに基づき、人事考課を実施 し、整備している。		
2-7-12 賃金制度は整備 されているか	学院の職員給与規程に基づき、支給する。	学院の職員給与規程に基づき、支給している。		学院 就業規則

^{* 5.}完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ	課題とその解決方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備 されているか	就業規則に基づき、人事採用試験を実 施する。	法人本部人事課において、学院ホームページ等により、学外に広く 募集を行い、採用試験の実施により、採用を決定している。			学院 就業規則
2-7-14 教職員の増減に 関する情報を明確に把 握しているか	法人本部人事課において、教職員の増減について、常に労働者名簿により明確に把握する。				

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
人事及び賃金等に関する規程は、学校法人明治東洋医学院 就業規則で定め、 整備している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳
		M-1012-1-1	7457 77

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	アー方針	イの現状	ウ 課題とその解決方 向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	学校法人 明治東洋医学院寄附行為に 基づき、理事会を中心とした意思決定 システムを構築する。	学院においては、常務理事会、理事会、評議員会、学校においては、管理運営会議、教員会議を定期的に開催し、意思決定システムを確立している。		常務理事会議事録 理事会議事録 評議員会議事録 管理運営会議議事録 教員会議議事録
2-8-16 意思決定プロセ スのポイントとなる仕 組み(会議等)が制度化 されているか	寄附行為に基づき、評議員会、理事会 等を開催する。	寄附行為により制度化されてい る。		学院 寄附行為
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	寄附行為、組織及び運営に関する規則に基づき明確に実施する。 学校運営の状況により、必要な人材を確保し、FD、SD研修会を通じ、資質の向上に努める。	学院においては、寄附行為及び学院就業規則に基づき、意思決定の階層、権限を明確にしている。また、学校においては、管理組織図に基づき、意思決定を明確にしている。		学院 寄附行為 学院 組織及び運営に 関する規則

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
事業計画について、寄附行為に基づき、意思決定のシステムが確立されている。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図 る情報システム化がな されているか	教職員内において、LAN 構築がなされており、業務の迅速化、効率化をはかる。	学校内におけるLAN構築を実施しており、情報の共有、業務の効率化をはかっている。また、入試、教務、同窓会、図書システムの構築を行い、業務の効率化に取り組んでいる。	がいないことから、学校 内での管理を行わず、ク ラウドによりファイルの	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
業務の効率化を図るため、職員全てが専用のパソコンをもち、学校内LANを構築し、情報の共有や業務の効率化をはかっている。 校舎内における wifi 環境の構築を行い、教育等に利活用する。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

基準3 教育活動

特記事項(特徴・特色・特殊な事情等) 点検大項目総括 鍼灸学科では、内部質保証としては基本的な臨床能力を修得し、臨床実践がで きるようにするために本校独自に臨床テキストを作成し、それを基本とした臨床 教育システムを構築している。臨床テキストは、主として基本となる診療技術と 診療手順を修得するためのテキストであり、東洋医学と西洋医学を統合した独自 の構成になっている。特に実習においては、徹底した実技指導を通して知識と技 術が修得できるようにしている。このことにより、次の臨床実習に繋げる。また、 学習支援セミナーにより、学生の個別フォローやスキルアップを図り、臨床力を 高める工夫を行っている。 さらに、実技教育の集大成である臨床実習を行うにあたっては基本的な診療技 術を修得するための実技・実習が多数用意され、合わせて形成的評価として OSCE 形式による臨床実習前試験を行いこれに合格することが臨床実習に進むための 条件となっている。また、卒業時には総括的評価として卒業実技試験を行うこと により3年間の学習の成果を適切にチェックしている。これらと併せて、第三者 評価として東洋療法学校協会によるはりきゅう実技評価試験を受けることでは りきゅう実技の基礎技能の客観的な評価を受けている。 多くの実技・実習・評価試験を通して臨床現場で役立つ実践力を磨いている。 柔整学科では、柔道整復師の社会的役割を知るところから始め、ケガの治療法や 予防の仕方を学んでいく。講義と実習で基礎・応用・臨床へとステップアップし、 徹底したシミュレーション実習では臨床で必要な判断力と技術力を磨く。 学生満足度の高い授業の実施と教育効果の向上を目指し、両学科ともに学生の授 業評価を行い、教員へフィードバックしている。 両学科とも、国家試験合格率100パーセントを目指し、万全のサポート支援体制 (対策講座、独自テキスト活用等) を実施している。

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	アー方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	本校においては、①基本的な診療ができること、②規則を遵守し、礼儀を重んじる態度を育成すること、③実技及び臨床実習を通して医療人として必要な倫理感・態度・習慣を身に着けること、の三点を重点事項として日頃心がけるよう指導し、信頼される医療人であり、社会人になることを目標としている。	個人事業所等への訪問や就職相談会を実施することで業界の人材ニーズを把握する。講義、実技実習、臨床実習において業界のニーズレベルに適するよう指導している。	ある学生、一般常識のある学生、 思いやりのある学生といった教育	教育課程編成委員会会議資料

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
業界のニーズレベルに適するべく、医療人として相応しい人間性を育むため 日頃より常に心がけ教育を実践している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を 勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか		や卒業生セミナーの実施によ	業界の求める人材ニーズレベルをどのような方法で効率よく学生に教授するかが課題である。	

5.70 ± 1.7 ありたわせ	3 0.日返 2. (/ / / / /) 1.1はこんことにつて、は、 111.日ではなりは、
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
業界の求める人材ニーズレベルを教室での講義の中で、すべて教授すること は不可能であるため、校内の附属治療施設、学外実習等臨床実習の現場にお いて直接、担当者より学生に教授することでニーズレベルをできる限り担保 することを心がけている	

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	アー方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュ ラムは、目標達成に向 け十分な内容でかつ体 系的に編成されている か	認定・指定規則に基づき編成されている。	国家試験の合格を目指し、教育 がなされている。卒後の即戦力 を養うための臨床実習も指定 規則に基づき、設定されてい る。		認定規則シラバス
3-12-4 カリキュラムの 内容について、業界な ど外部者の意見を反映 しているか	卒業生や他の教育施設、学会役員と連携を取り検討し、カリキュラムに反映している。	年2回の「教育課程編成委員 会」の開催を実施し、反映して いる。		教育課程編成委員会会議資料
3-12-5 カリキュラムを 編成する体制は明確に なっているか	本校教育委員会においてカリキュラムの骨子を策定し、それに基づき原案 を作成し授業担当者の意見を反映させ カリキュラムを作成する。	原案に科目担当者等の意見 をふまえ、より効率的で現実 的な教育を実践している。		学則 シラバス
3-12-6 カリキュラムを 定期的に見直している か	日常的に理想的なカリキュラムの作成 に向け、検討を継続し、認定規則内で の変更を行う。	日々変化する、社会状況や業界 の情報をいち早く収集し、より 教育効果の高いカリキュラム の作成を心がけ、定期的に関係 官庁に相談の上、定期的にカリ キュラムを変更している	入学生から新教育課程が施行	学則 シラバス

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
今後は学生のニーズ、学習レベル、および将来の目標など個々に対応した弾力的かつ教育の質を保証するために卒業時の到達目標を設定したカリキュラムを編成する。また、平成30年からの法改正に対応した新カリキュラムを作成する。	ラムを作成する。

最終更新日付 2018 年 7 月 31 日 記載責任者 田	7	辰樹	
--	---	----	--

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目 は、カリキュラムの中 で適正な位置付けをさ れているか	適正な位置付けをなす。	現状において考え得る、より 教育効果の高いカリキュラ ムを実践している。また、学 生の授業評価においても相 応の評価を得ている。	観等での内容の精査を実施 し、より高いレベルでの教育	シラバス
3-13-8 各科目の指導内 容、方法等を示したシ ラバスが作成されてい るか	シラバスについては、授業内容、授業 における注意事項、定期試験受験資格、 成績評価等を明記する。	毎年、科目担当者が作成し、 学科で精査した後、学生に配 布、説明をしている。	学生へのアンケート調査に より、改善に取り組む。	シラバス
3-13-9 各科目の一コマ の授業について、その 授業シラバスが作成さ れているか	シラバスには、授業計画として毎回の 授業内容を記載する。	鍼灸学科の実技授業においては1コマごとの授業シラバスを作成している。	今後は柔整学科でも同様の 対応をするとともに、講義の シラバスでも1コマごとに 作成していく必要がある。	シラバス

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
シラバスは、本校の教育の指針となることから、充分に内容を検討し、学生に提供する。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰	樹
--------	------------	-------	------	---

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授 業評価を実施している か	各学科各学年とも各学期終了後に授業 評価アンケートを実施する。	各学期の最終授業時に授業 評価アンケートを実施して いる。	アンケート結果にもとづく 対応が適切になされている かの評価が必要である。	授業評価アンケート
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	者へのフィードバックを行う。また、	成績評価終了後に、学生からの授業評価アンケートを授業担当者に 手渡し、今後の改善に努めている。 また、校長及び学科長がアンケートの内容を確認している。	学生の意識などにより、記載内容 にばらつきがあるが、アンケート 結果に基づき、教育の改善に取り 組む必要がある。	授業評価アンケート

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
更なる教育効果の向上をめざし、アンケート項目の検討や他の教員による授	
業評価(公開授業)を進めていく予定である。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか	臨床経験豊富な医師や鍼灸師、柔道整 復師など、医療人として、また、研究 者として第一線で活躍する講師陣を採 用する。	姉妹校の明治国際医療大学 をはじめ、教員資格のある業 界人等広く公募を行い採用 者の決定を行っている。	治国際医療大学大学院修了生	履歴書 教員資格の証票書類
3-15-13 教員の専門性 レベルは、業界レベル に十分対応しているか	業界レベルに対応した専門性レベルを 有する人材を講師陣として採用する。	学会発表、著書等の研究実績 をはじめ、業界では専門性レ ベルの高い講師陣である。		学会抄録
3-15-14 教員の専門性 を適宜把握し、評価し ているか	学科内において、個別に面談等を実施 し、教員の専門性を活かした科目を担 当させる。	研究実績等、専門性の把握を 随時行っている。		
3-15-15 教員の専門性 を向上させる研修を行 っているか	個々の教員の専門性を助長すべく、学 外研修、学会参加を推奨する。	各教員の専門性レベルに応 じた学外研修を推奨・支援し ている。		学会抄録

^{* 5.}完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクション スキル)を適宜把握し、 評価しているか	教員としての適性や教授力は、本校での教育にとって最も重要なファクターであるため、継続して教員個々の教授力の向上をめざし学校としての把握を行う。	現在、教員に対する評価委員会 等は設置されていないが、学科 内において学科長が個々の教 員評価を行っている。また、学 生による授業評価アンケート を実施している。	教員に対する公平な人事評価の構築が必要である。	授業評価アンケート
3-15-17 教員の教授力 (インストラクション スキル)を向上させる 研修を行っているか	姉妹校の明治国際医療大学や他の大学 等への研修を薦める。	教員間による授業参観等に より問題点の指摘、改善、育 成を実施している。また、学 校協会主催の外部研修会等 への参加を薦めている。		東洋療法学校協会、全国柔道整復学校協会教員研修会
3-15-18 教員間(非常勤 講師も含めて)で適切 に協業しているか	継続的に学科長を中心に協議を実施し、授業の教育効果向上を図る。	学科ごとの教員会議において、問題点の共有、それに対する改善策の協議を実施している。	専任教員間、また、非常勤講師との連携の場を定期的に設ける必要がある。今年度は非常勤講師との懇談会を実施し、意見交換の場を設けた。今後はそこで出た意見をどのような形で教育に反映していくかが課題である。	学科教員会議資料
3-15-19 非常勤講師間 で適切に協業している か	本校教育目標にもとづき非常勤講師 個々の専門性を勘案した上で講義を依頼する。	非常勤講師の専門性を把握した上で、その専門性に応じた授業を依頼することで協業を実施している。	非常勤講師も含めた、教育効果向上のための協議会の場 を設ける必要がある。	シラバス 授業評価アンケート

^{* 5.}完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の 採用基準は明確か	適性、教員資格、実績等を勘案し採用を決定する。	あはき師、柔道整復師養成施 設の関連規則、専修学校設置 基準に基づき、非常勤講師の 募集を実施している。	採用にあたっては、専門性、人間性はもとより、模擬授業を行うなど、教授力を評価する制度を導入する必要がある。	履歴書等

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
姉妹校の明治国際医療大学をはじめ、本校教員養成学科卒業生、教員資格のある業界人等から広く公募を行い採用者の決定を行っているが、教員としての適性等の判断は難しいことから、採用後本校で適正な評価・指導を実施し、教授力の向上に努めたい。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹
~~~~~~~·	-010   1/1 01		- · · /2 <  24

#### 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単 位認定の基準は明確に なっているか	学生便覧等に記載し、成績評価・単位認定の基準は明確にする。	成績評価・単位認定の基準は 明確であり、所定の基準を充 たした者が単位を認定され ている。	基準は明確になっているが、単位認定のための評価試験の難易度は講義担当者の判断により一律ではない可能性がある。試験問題を複数の教員がチェックするなど、対応を実施している。今後はGPA制度を導入し試験の平準化に努めていく。	学生便覧
3-16-22 他の高等教育 機関との間の単位互換 に関する明確な基準が あるか	高等教育機関及び厚生労働大臣の指定 を受けた養成施設(医療関係職)との 単位互換について、明確な基準を定め る。	他の養成校等で取得した単位は既修得単位として認定は行っているが、他校との協定に基づく単位互換は実施していない。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
成績評価・単位認定については、学生便覧等で明確に周知を行っており、未	
成年者を主として成績評価を保護者あて送付している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

#### 3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 方針	イ・現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	認定規則に基づき、カリキュラムを決 定し、国家資格取得を目指す。	専門基礎科目、専門科目において、明確に定められている。		学則
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	国家資格取得に向けた教育課程とする。	教育課程表に基づき履修しているが、単位修得が困難な学生についてはフォローアップセミナー、さらに上の知識・技術を求める学生にはスキルアップセミナー等の講座を開設し、国家資格取得に向け取り組んでいる。		シラバス フォローアップセミナー スキルアップセミナー

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
認定規則に沿った科目、フォローアップセミナー、スキルアップセミナー、 聴講生制度等を実施することで、国家資格取得に向けた個別に対応できる万 全な体制を取り、教育的な学生支援を実施している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

# 基準4 教育成果

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校では、先に記載のとおり「人と人との和」「人と自然との調和」「東洋と	
西洋の融和」という三つの「和」を建学の心とし、医療人の育成に努めてい	
る。したがって、本校の最終的な教育効果は国家試験の合格にとどまらず、	
西洋医学と東洋医学の双方から診療ができ、患者さんにとって最適な治療が	
提供できるよう常に何が最善の治療なのかを見極め、そして実行する事が治	
療家としての心であるとの教えを、本校の柱として教育を行っている。その	
精神が長年受け継がれ、多くの事業所に卒業生が採用され、その事業所から	
継続して求人依頼があることこそが本校の教育の効果である。	

#### 4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	ア 方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者 就職率・求職者就職 率・専門就職率)の向上 が図られているか	就職率 100%を目指す。	就職率の向上にむけ、就職相談会を開催している。また、定期的に 就職状況のアンケートを実施し、 卒業後も進路調査を続けている。	就職先の確保に向けて、企業 訪問の強化が課題である。	
4-18-2 就職成果とその 推移に関する情報を明 確に把握しているか	定期報告に基づき、就職成果とそ の推移に関する情報を把握する。	毎年、認定、指定規則に基づき、 就職成果の報告を行い、就職の推 移を把握している。就職率につい ては、学校案内、ホームページ等 で公表している。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職を希望する学生の就職率 100%を目指している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

#### 4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向 上が図られているか	国家試験合格率 100%を目指す。	平成29年度の資格取得率は、 鍼灸学科ではり師63.0%、きゅう師67.1%、柔整学科で柔 道整復師94.0%である。昨年 度に比較し、鍼灸学科は大幅に 減少した。一方、柔整学科は上 昇した。	ては指導を強化し全学生の資 格取得を目指す。鍼灸学科にお	国家試験学校別合格一 覧
4-19-4 資格取得者数と その推移に関する情報 を明確に把握している か	厚生労働省において、受験番号による 合格者が公表されているため、本校受 験者の合否の把握は明確である。	合格発表日に本校学生の合 否確認を行い、教職員には、 連絡会議及び教員会議にお いて周知を図っている。		国家試験学校別合格一 覧

5. 九宝 1.7 なり たんてい	5 6.日
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
在学生への対応については、一部の学生への特別な強化指導が必要であるが 一応の成果は確認できている。また、既卒者(前年度以前の不合格者)への フォローも実施しているが、モチベーションの低い卒業生もいることから、 専任教員が専属で担当しフォローを行っている。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

#### 4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が 図られているか	成績不振や学習意欲がない学生に対し、面談を重点的に実施し、退学することがないよう個別にサポートする。	クラスアドバイザーを中心 に教職員が一体となり、退学 に繋がる可能性のある状況 を早期に把握しつつ、教育 的・経済的なサポート体制を 取り、面談を実施している。	個別面談等により、学生とのコミュニケーションを図り、加えて保護者との連携の強化を図り、早期対応に努める。	
4-22-6 入退学者数とそ の推移に関する情報を 明確に把握しているか	入退学者数については、教職員が積極 的に情報を把握する。	入学者、退学者については、 関連の会議のほか、管理運営 会議、教員会議等で随時報告 を行っている。	入学者、退学者については、 教職員がさらに主体的に早 期に対応策を講じることが 重要である。	管理運営会議議事録 教員会議議事録

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入学者が初期の目的を達成できるよう、フォローアップセミナー等を活用した教育的な学生支援、本学校法人独自の奨学金、特待生制度を活用した経済的な学生支援、生活面でのクラスアドバイザーによる学生支援等をさらに充実させ、学生にとって満足度の高い学校とし退学者の低減を目指す。	

<b>最終更新日付</b> 2018 年 7 月 31 日 <b>記載責任者</b> 田口 辰樹	辰樹
--------------------------------------------------	----

#### 4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 方針	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生 の社会的活躍及び評価 を把握しているか	教育効果を把握し、現状の教育方法等 を改善する目的から、既卒者の動向に ついては同窓会と連携し把握する。	卒業生については、同窓会の 名簿作成や既卒者からの求 人依頼、業界団体の役員名簿 により、動向を把握してい る。	外の職に就いた場合、その動	卒業者名簿データベー ス
4-21-8 卒業生の例とし て特筆すべきものを記 述できるか	すべての卒業生が特筆すべきものであって、例をあげることはできない。	学校案内及びホームページ において、数人ではあるが卒 業生を紹介している。		2018 学校校案内 ホームページ
4-21-9 在学生や卒業生 の作品や発表が、外部 のコンテスト等で評価 されたか	医療現場に対する社会の期待および要請が高まっていく中、それらを的確にとらえ、患者さんにとって何が最適な対応かを見極めることが、医療人として 必要不可欠であるとの基本理念に基づき、社会に認められ、患者さん医療関係者から信頼される「はり師」「きゅう師」「柔道整復師」の養成に日々努める。	建学の心を理解し、患者さん及び医療関係者から信頼され、かつ社会に認められ、必要とされる医療人となり、さらには研究・教育の分野でも評価される人材の育成にあたっている。	1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
4-21-10 在学生や卒業 生の作品や発表が、外 部のコンテスト等で評 価された例として特筆 すべきものを記述できるか	すべての卒業生が特筆すべきものであって、例をあげることはできない。	教育・研究分野にあたっては 各種学会等で多く発表され ている。		学会抄録

	3 3.1 2 2. ( 1/C ) 3. 11.6 C / C C Z / C C 3. 11.1 C ( 3. C ) 3.
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
現在、15,000余名の卒業者を輩出し、業界では一歩リードをしている本校の	
責務は決して少なくないものと認識している。今後、本校を卒業する在校生	
には業界の発展に寄与する人材として大きな期待がかかっていることから、	
教職員は本校のミッションをしっかりと認識し、それを実行し、推進する覚	
悟を持ち、学生の育成にあたっていきたい。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	田口 辰樹

# 基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校では、次の学生支援体制を整備している。  1. 学修支援 授業の理解度を深めるため、専門基礎科目を中心に成績不良者を対象とした「ファローアップセミナー」、更なる知識、技術の修得の向上を目指す学生を対象とした「スキルアップセミナー」を開講し、個々の学習環境にあったサポート体制を整備している。  2. キャリア支援 3年次の4月、10月、翌年3月の3回に分けて就職に関するアンケートを実施し、就職に対する意識の向上に努めている。また、就職を控えた3年生全員に対し、就職説明会を実施し、就職相談会の開催の案内及び積極的な参加を呼びかけている。  3. 学生支援 学生生活において、クラスアドバイザーを中心に教務課、学生課による学生動態の把握に努め、成績不良及び出席不良者に対する早期個別指導体制を整備している。また、常時、相談窓口を設置し、個別に相談できる支援体制を整備している。  4. 健康支援 平成30年3月末に姉妹校の明治国際医療大学附属のクリニック(内科、心療内科等)を専門学校校地内に設置し、学生の健康管理の整備に努めている。	

#### 5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進 学指導に関する体制は 整備され、有効に機能 しているか	多数の施術所、施設、医療機関から 求人希望を募ることができるよう、 日頃から連携を図ると同時に新規 就職先確保に取り組む。 提出された求人票を基に、就職を希 望する学生に案内し、高い就職率を 確保する。	自由に閲覧できるようにしており、	資格取得が3月末であることから、学生の就職に対する意識が低く、就職活動が遅い。次年度は8月と3月に就職相談会を実施し、就職率向上を目指す。	
5-22-2 就職に関する説 明会を実施しているか	3年生全員に対し、就職に関する説明会を実施し、定期的な就職相談会を開催する。	3年次の4月に進路に関するアンケートを実施。9月末から10月初旬にかけて、3年生全員を対象に就職に関する説明会、就職相談会開催の案内及び就職希望に関するアンケートを実施している。		
5-22-3 就職に関する学 生個別相談を実施して いるか	相談窓口を明確にし、学生個別相談を実施する。	担当者を配置して、学生個別相談に対応している。		
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	面接に対する態度、服装、就職先 に確認すべき点等、指導を徹底す る。	面接等の日程が決定した時に面接 の取り組み方等、個別指導を実施し ている。		

0.70量 1.7 は 7 足 7 で 1	3 0.日地 2. ( ) たりない 1.はこんこ 進ん ( ) ない 111.日 ( はよりない
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
定期的なアンケートを実施することにより、就職に対する意識の向上に努め	
ている。求人票は、コンピューター教室にて自由に閲覧できるように管理し	
ており、希望する就職先があれば、個別に対応を実施している。また、企業	
等にも来校いただき、定期的な就職相談会への参加を依頼する。	

	最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳
--	--------	------------	-------	-------

## 5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関す る体制は整備され、有 効に機能しているか	クラスアドバイザー、学生課、教 務課との密接な連携により、学生 相談に対応する。			
5-23-6 学生相談室を開 設しているか	常時学生からの相談に対応できる学生相談室を設置する。	個別に常時学生からの相談に対応で きる相談室を開設している。	クラスアドバイザーに直接相 談するケースが多く、相談室 の利用は少ない。	
5-23-7 学生からの相談 に応じる専用カウンセ ラーがいるか	定期的に専用カウンセラーを配置する。	クラスアドバイザー、事務局担当職員 との密接な連携により対応している が、専用カウンセラーの配置は行って いない。しかし、校地内に大学附属の クリニック(心療内科等)が開設され たことから個別に対応できる体制は 整備している。		
5-23-8 留学生に対する 学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	留学生が在学する場合は、個別 に対応できる学生相談窓口を整 備する。	現在は、留学生が在籍していない。		

0.元宝 1.7 な / た/0 く v	
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生相談に対し、常時対応できるようクラスアドバイザー及び担当者を配置 している。心理的な悩みを抱えている学生に対しては、校地内に開設してい るクリニックの利用を勧める。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

#### 5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	アー方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側 面に対する支援が全体 的に整備され、有効に 機能しているか	日本学生支援機構の奨学金、学院奨 学金により、経済支援体制を整備す る。 また、学費の支払制度について、一 括納入だけでなく、分納、延納制度 により支援する。	日本学生支援機構の奨学金、学院 奨学金により、支援を実施してい る。また、学費納入に際し、分納、 延納制度を設け、学業に専念でき るように機能している。		学院 奨学金規程 学生募集要項
5-24-10 奨学金制度が 整備され、有効に機能 しているか	日本学生支援機構の奨学金、学院奨学金により、支援体制を整備する。	日本学生支援機構奨学金、独自の 学院奨学金制度を設け、学生に周 知を行い、貸与している。		学院 奨学金規程 学生募集要項
5-24-11 学費の分納制 度等、学生を経済的に 支援する制度が整備さ れ、有効に機能してい るか	学生からの願い出により、学費の分納、延納制度を許可し、学業に専念できるよう配慮する。	学費の分納、延納を許可し、面談 のうえ、学生にとってよりよい方 法を提供している。		学則 学生便覧

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
社会の経済状況により、経済的に厳しい学生が増加の傾向にあり、国の教育ローン、日本学生支援機構奨学金の案内、学院奨学金制度を整備している。また、一括納入できない学生について、分納、延納制度を整備し、学業に専念できるように対応している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

#### 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康 診断を行うなど学生の 健康面への支援体制は あるか	毎年度始めのオリエンテーション 時に全学生を対象とし、健康診断を 実施する。	(財)日本予防医学協会に委託 し、毎年度始めのオリエンテー ション期間中を利用し、全学生 を対象とし、健康診断を実施し ている。		
5-25-13 学生の健康管 理を担う組織体制があ り、有効に機能してい るか	学生の健康管理に対応できる施設 を設置する。	本校には、附属治療所を設置しており、医療資格をもった教員が常駐している。 また、校地内に大学附属クリニックがあり、健康管理に有効に機能している。		
5-25-14 学生からの健 康相談等に専門に応じ る医師・看護師等がい るか	教員が医療資格者であることから、 学生からの健康相談に対応する。 また、校地内に大学附属クリニック があることから、医師、看護師を常 時配置している。	本校の教員は、医療資格者であることから、日常からの健康管理に対する相談対応ができている。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教員が医療資格者であり、附属治療所に常駐していることから、学生の健康管理体制は常に整備されている。 また、校地内に姉妹校の明治国際医療大学附属クリニックを開設していることから、看護師、医師を常時配置しており、健康管理に努めている。	

<b>最終更新日付</b> 2018 年 7 月 31 日 <b>記載責任者</b>	藤井 義巳
--------------------------------------------	-------

### 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制を整備する。			同好会活動規則 課外活動規則

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
アルバイト等をしている学生が多く、クラブ活動や課外活動に費やす時間の 余裕が少ないことから、課外活動は、活発には実施されていないが、学生からの要望に対し、同好会活動規則、課外活動規則に基づき、クラブ発足等の 支援体制を整備している。	

## 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者 のための学生寮等、学 生の生活環境への支援 は行われているか	学生の生活環境への支援に努める。	地方出身者の入学者の割合が少ない。ワンルームマンション等の紹介を希望する学生には、信頼のおける指定不動産業者を推薦している。 また、校舎内に食堂を有し、本校職員を配置しており、食に対する支援に努めている。		学生募集要項

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入学者の社会人比率が高いことから、支援実績は多くないが、信頼のおける 不動産会社との提携により、生活環境への支援、また、食堂に本校職員を配 置することにより、食への支援に努めている。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳
	_010   1/1 01		74571 324

## 5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切 に連携しているか	未成年者の学生に対し、クラスアド バイザーと保護者との密な連携を 構築する。			

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
オリエンテーション時の保護者説明会の計画、未成年者の学生に対する成績、出席状況等を保護者に通知することにより、クラスアドバイザーと保護者とのより一層の連携を強化する。	

### 5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織 化され、活発な活動を しているか	同窓会が組織化され、毎年度活発な活動を実施する。	柔整学科卒業生は、「明柔会」、鍼 灸学科卒業生は「明友会」 として同窓会組織を結成してい る。また、教員養成学科について は、平成23年度に同窓会組織を 立ち上げ、定期的な研修に取り組 んでいる。卒業半年後等の早期に 「ホームカミングデイ」等を設定 し、学校において教員との交流の 機会を図っている。		明治東洋医学院専門学 校同窓会会則 「明柔会」会則 「明友会」会則 教員養成学科同窓会会 則
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	定期的な研修会の開催を計画し、 充実した支援体制を実施する。	学校での定期的な研修会の開催、 また、地方における支部組織を結 成し、支部研修会を開催する等、 生涯学習の支援体制を確保して いる。	同窓会活動に参加する卒業 生が少ない。	同窓会会報

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
約15000名の卒業生を輩出しており、業界においても要職についておられる 方が多く、本校にとって、卒業生との連携は不可欠である。 本校では、同窓会が組織化されており、定期的な研修会の開催など活発な同 窓会活動を実施し、生涯学習に取り組んでいる。	

## 基準6 教育環境

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
平成元年の法改正に伴い、平成4年、現在の地に新築移転した。当時は、最新設備を完備し、他校にはない教育設備を配置していたが、約26年が経過したこともあり、設備等の改善が必要な箇所もでてきている。学院として、老朽化設備に対する中長期計画をたて、設備の更新、修繕等を進めていくこととしている。校舎内には、食堂及び約12,800冊の蔵書を有する図書室などがある。平成17年度には、トレーニング機器を完備した屋内体育施設を新築し、教育環境の充実に努めた。平成28年度には、「私立学校施設整備費補助金 エコキャンパス事業」の採択を得て、校舎内全トイレの改修工事を実施した。平成29年度には、校内にWifi環境を整備、また、校地内に姉妹校である明治国際医療大学の附属クリニックを開設した。	校舎内に食堂を有し、食の支援をする場だけでなく、個別学習の場としても 利用している。また、教育にも活用できるよう wifi 環境を整備している。 校地内に大学附属のクリック(内科、心療内科等)を開設し、学生の心身の 健康管理等にも努めている。

## 6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、 教育上の必要性に十分 対応できるよう整備さ れているか	施設、設備は、教育上の必要性に十 分に対応できるよう整備する。	教育の必要性に応じ、適切な管理を実施している。		
6-30-2 施設・設備のメ ンテナンス体制が整備 され、有効に機能して いるか	外部委託業者により、施設、設備の 維持管理に努める。	清掃、設備管理業者等と委託契 約を行い、管理体制を整備して おり、快適な学生生活の支援に 努めている。		
6-30-3 施設・設備の更 新に関する計画を立 て、計画通りに更新し ているか	学院全体として、施設、設備の更新 に関する中長期計画に基づき、遂行 する。	施設、設備の更新については、 学院全体として捉え、現在、中 長期計画の策定に取り組んでい る。簡易な改善については、都 度対応している。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
清掃、施設、設備等について、外部業者と委託契約を行い、学生が快適な学生生活を送れるよう管理を行っている。不備、不具合事項等に対する早期改善に努め、教育に支障がでないように取り組んでいる。	

<b>最終更新日付</b> 2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳
--------------------------	-------	-------

## 6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	て、外部の関係機関と連携し、教育	71120 1 = 10010 = 1 7 7 7 7		
6-31-5 学外実習、イン ターンシップ、海外研 修について、その実績 を把握し教育効果を確 認しているか				

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、学外での臨床研修を 実施することにより、医療人としての態度、心構え、倫理観等を修得してい る。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

## 6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体 制は整備され、有効に 機能しているか	理事長を頂点とした防災体制を整え、 災害発生時には、速やかな対応を実施 する。	規則、規程等に基づく防災マ ニュアルの作成等、早急に整 備しなければならない。		
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	災害をおこす可能性のある設備・機器 等の情報の共通認識に努める。	災害を起こす可能性のある設備、機器等については、外部 委託業者が定期的に管理を行っている。		
6-32-8 実習時等の事故 防止の体制は十分か	実習時は、教員の管理が行き届くように常に配慮し、事故防止に全力を尽くす。また、実習前に必ず、学生に対しオリエンテーションを実施し、事故防止に努める。	医療事故防止に対する事前説 明を行い、実習時は、教員が 事故防止に努めることを徹底 している。		
6-32-9 万が一の災害が 起きた場合に備えた保 険等の処置は十分なも のとなっているか	万が一の場合に備え、保険に加入する。	損害保険等に加入している。		

^{* 5.}完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

6-32 (2/2)

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	防災訓練を実施しなければならない。		防災意識を高め、定期的に昼間部、夜間部において防災訓練を実施しなければならない。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
定期的に避難経路等の確認を実施することにより、防災意識を高め、防災への対応マニュアルを整備し、防災訓練の実施に努めなければならない。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

## 基準7 学生の募集と受け入れ

志願者が必要とする情報を学校案内、募集要項、ホームページ等で詳細に掲載し、学生募集を行っている。また、学納金に関しても3年間に必要な金額を明確に記載し、入学辞退に対する対応についても、所定の手続きにより授業料の返還を行う旨の記載を行っている。 オープンキャンパスを毎月実施し、参加者に本校の特色を理解してもらうよう教職員一丸となって取り組んでいる。 入学試験は、学則に基づき適正に実施し、選考は入試管理会議において公平に審査し、決定している。	点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
	志願者が必要とする情報を学校案内、募集要項、ホームページ等で詳細に掲載し、学生募集を行っている。また、学納金に関しても3年間に必要な金額を明確に記載し、入学辞退に対する対応についても、所定の手続きにより授業料の返還を行う旨の記載を行っている。 オープンキャンパスを毎月実施し、参加者に本校の特色を理解してもらうよう教職員一丸となって取り組んでいる。 入学試験は、学則に基づき適正に実施し、選考は入試管理会議において公平	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

## 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動 は、適正に行われてい るか	大阪府専修学校各種学校連合会の 入試選抜基準に基づき実施する。	大阪府専修学校各種学校連合会 の入試選抜基準に基づき実施し ている。		募集要項 学校案内
7-33-2 学校案内等は、 志望者・保護者等の立 場に立った分かり易い ものとなっているか	学校案内等は、志願者、保護者等の視点に立ち作成する。	志願者、保護者等の視点に立ち、 わかり易く、また、学校案内等 を確認すれば学校の情報が全て 理解できるよう作成に取り組ん でいる。		募集要項 学校案内
7-33-3 志望者等の問い 合わせ・相談に対応す る体制があるか	事務局職員全員が電話相談等に対 応できる体制とする。	詳細な相談にも対応できる常勤 職員を配置している。 また、入試専用のフリーダイヤ ルを設け、対応している。		
7-33-4 募集定員を満た す募集活動となってい るか	定員充足にむけ、インターネットによる広報を中心に募集活動を実施する。	定員充足に向け、土、日曜日を 利用した月に2度のオープンキャンパス、平日を利用した学校 説明会を開催している。また、インターネットによる広報を強 化し、ホームページの情報更新、 リスティング広告に取り組んでいる。	足していない要因を分析し、 本校の弱みについて、教職員 全員が共通認識を行い、改善 するよう取り組まなければな らない。また、本校の強みを	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入試広報に対する担当者を配置し、志願者、保護者の視点にたった媒体、インターネット情報を作成するように取り組んでいる。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

### 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	学校案内、ホームページ、オープ ンキャンパス等で就職実績、資格 取得実績等の教育成果を公表す る。	学校案内、ホームページ、オープンキャンパス等で就職実績、資格取得実績の公表、卒業生の活躍等を紹介している。		学校案内
7-34-6 卒業生の活躍の 教育成果が学生募集に 貢献したかどうか正し く認識する根拠を持っ ているか	志願者に対するアンケート調査の 志望動機で、「卒業生からの紹介」 の項目を列挙し、把握する。	本校への志願理由の一つとして、 「治療でお世話になった先生が本 校の卒業生」である旨の情報がある こと、また、本校では、卒業生が推 薦する入試制度を実施しているこ とから認識することができる。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
卒業生情報の共通認識をはかり、一人でも多くの活躍している卒業生を紹介 し、募集活動に反映するように努めている。	毎年、卒業生名簿の整備を実施している。

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

### 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	アー方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適 正かつ公平な基準に基 づき行われているか	入試管理会議の議をえて、実施する。	入試管理会議規程に基づく委員 による会議を開催し、公正に実 施されている。		入試管理会議規程 入試管理会議議事録
7-35-8 入学選考に関す る情報とその推移を学 科ごとに正確に把握し ているか	教員会議等で入試結果を毎月報告 し、情報の共有認識をはかる。	教員会議で募集状況等につい て、報告している。		入試管理会議議事録 教員会議議事録

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
入学選考について、入試管理会議規程に基づく委員による会議を開催し、公 正な募集、選考が実施されている。また、その推移については、教員会議等 で説明を行い、情報を共有している。	

<b>最終更新日付</b> 2018 年 7 月 31 日 <b>記載責任者</b> 藤井 義巳	
--------------------------------------------------	--

### 7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育 内容、学生および保護 者の負担感等を考慮 し、妥当なものとなっ ているか	教育内容、学生及び保護者の負担感等を考慮し、学納金を設定する。	単位従量制による学費制度 を構築し、教育負荷率を考慮 した1単位あたりの授業料 を設定した。		学生募集要項
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学 科ごとに正確に把握し ているか	学納金に関する情報とその推移を教職 員全員が把握する。	募集要項の配布により、教職 員全員に周知をはかってい る。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学納金に際し、志願者および保護者が理解できるよう、わかりやすい情報の 提供に心掛けている。また、入学辞退に対する対応も明確に提示している。	

8 4 5 4 5 4	0010 K = I 01 I	-1 +4 + 1/ +	共工 共口
最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

## 基準8 財務

財務は、学院理事会、評議員会で審議を行い、作成されている。 予算書は、学院理事会、評議員会で審議を行い、作成されている。また、会計監査は、公認会計士のもと、学院監事(外部委員2名)、事務局長、財務担当者との打ち合わせのもとに実施され、毎年度適正に収支計算書が作成され、学院理事会、評議員会で審議されている。 経費の削減、学生の確保に積極的に取り組んでいるが、学院の収支状況については、引き続き、支出が収入を超過する収支計算となっている。

### 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 方針	イ・現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校 の財務基盤は安定して いるといえるか	中長期的な学院の財務基盤の安定が第一である。	学校としては、財務基盤となる 入学生の確保が重要な課題であ る。	2 * * * · · · · · · · · · · · · · · · ·	
8-37-2 主要な財務数値 に関する情報とその推 移を正確に把握してい るか	大学を所有する学校法人であるため、学院の財務状況をホームページ 等で公表する。	大学を所有する学校法人である ため、学院の財務状況について、 毎年度、ホームページ等で情報公 開している。また、全職員に対し て、財務状況の説明会を実施して いる。		平成 29 年度収支計算書平成 29 年度事業報告書

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
財政基盤の安定に取り組み、中長期計画を作成しなければならない。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

## 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期 計画は、目的・目標に 照らして、有効かつ妥 当なものとなっている か	年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして作成する。	年度予算、中期計画は、毎年度 事業計画を作成した後に予算案 を作成し、学院理事会、評議員 会等で審議され、遂行している。		平成 29 年度事業計画書 平成 29 年度予算書 学院理事会、評議員会議 事録
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	予算は、年度計画に基づき作成し、 執行する。	事業計画に基づく予算案を学院 理事会、評議員会で審議し、決 定した予算案に基づき、業務を 遂行している。		平成 29 年度事業報告書 平成 29 年度収支計算書 学院理事会、評議員会議 事録

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年度の事業計画、予算案は、学院理事会、評議員会で審議されている。 職員全員に対し、財務状況についての報告会を実施し、学院の現状について、 教職員全員が情報の共有を行っている。	

<b>最終更新日付</b> 2018 年 7 月 31	□ 記載責任者	藤井 義巳
-----------------------------	---------	-------

## 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会 計監査が適正におこな われているか		会計監査は、公認会計士のもと、適正に実施されている。		H29 年度 監査報告書
8-39-6 会計監査を受け る側・実施する側の責 任体制、監査の実施ス ケジュールは妥当なも のか	会計監査を受ける側・実施する側の 責任体制を明確にし、監査は年間ス ケジュールのもと実施する。	会計監査は、学院監事(外部委員)、法人本部事務局長と打合せのもと計画的にスケジュールに基づき、実施されている。		H29 年度 監査報告書

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
会計監査は、公認会計士のもと、公正、適切に実施されている。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

### 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	アー方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法にお ける財務情報公開の体 制整備はできているか	私立学校法における財務情報公開を実施する。	本校は大学法人であることから、私立学校法における財務情報公開を実施している。		H29 年度貸借対照表 収支計算書 監査報告書 財産目録
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	私立学校法における財務情報公開の形式に準じる。	文科省で定められた所定形式で 学院ホームページにおいて毎年 度財務情報公開を実施してい る。		H29 年度事業報告書 収支計算書 監査報告書 財産目録

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学院の財務情報について、大学ホームページ等で公開している。 また、役員会終了後、教職員全員に対し、財務状況の報告会が実施されてい る。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

## 基準9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
事修学校設置基準、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する 法律、柔道整復師に関する法律、あん摩マツサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則、柔道整復師学校養成施設指定規則、あん 摩マツサージ指圧はりきゅう教員養成機関指定基準等の法令に基づき、教育 を実施している。 また、加盟している公益社団法人東洋療法学校協会、公益社団法人全国柔道 整復学校協会等の倫理綱領等に基づき、法令遵守の精神を教育に取り入れて 教育を行っている。	

### 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	アー方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校 設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行う。	関連する法令を遵守し、適切な 学校運営を行っている。		
9-41-2 法令や専修学校 設置基準等の遵守に関 して、教職員・学生等 に対する啓発活動を実 施しているか	教職員並びに学生に対し、法令遵守 の啓発活動を実施する。	学生に対しては、医事法規等の 授業で実施している。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
鍼灸師、柔道整復師に関連する法令、専修学校設置基準等を遵守し、学校教育を行っている。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

### 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 方針	イ・現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や 卒業生および教職員等 学校が保有する個人情 報に関し、その保護のた めの対策がとられているか	規程に基づき、個人情報の保護に取り組む。	情報の収集の際には、本校の個 人情報保護方針に基づき、実施 している。		個人情報保護方針 個人情報保護委員会規 程
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	個人情報の保護に関し、教職員・学生等に対する啓発活動を実施する。	教職員には、情報の収集の際に は必ず、取扱い及び個人情報の 保護について明記するよう周知 徹底を図っている。また、学生 に対しても、個人情報の取り扱 いについて説明をしている。		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
個人情報の保護に関し、学校が定めている個人情報保護方針に基づき、厳格に対応している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳
*****	2010   7,01 [		11.5 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T

## 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己 評価を定期的に実施 し、問題点の改善に努 めているか	自己点検・評価は法令に基づき実施し、問題点の改善に取り組む。	毎年度授業評価アンケートを実施し、教育の改善にむけて取り組んでいる。 また、職業実践専門課程の認定に基づき、カリキュラムの検討、教職員の資質の向上等に努めている。		自己点検・評価報告書
9-43-6 自己点検・自己 評価に関する方針は確 立されているか	私立専門学校等評価機構作成の 様式にて実施する。	自己点検・評価の年度毎の方針を 明確にすべきである。	自己点検・評価の問題点について、具体的な改善に取り組まなければならない。	
9-43-7 自己点検・自己 評価に関する方針は関 係者に対して正確に伝 わっているか	学校ホームページ等を通じ、関係 者に対し、公表する。	教育に対する自己点検・評価については、各授業担当者がその意義を理解し改善に努力している。しかしながら点検項目の内容については、その意図するところが正しく伝わっていないことも見受けられることから、定期的な意見交換が必要である。		

5.70 型 1.77 まりたわせ	<b>3</b> 5.日返 <b>2</b> . 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年、教育を主として自己点検・評価に取り組んできたが、当初の年度計画に対する必要な課題の検討、改善に取り組み、健全なる学校運営を目指す。また、平成29年度は、柔整学科において公益財団法人柔道整復研修試験財団を主とする第三者評価が実施され、実施結果を公表している。	

<b>│ 最終更新日付 │</b> 2018 年 7 月 31 日 <b>│ 記載責任者 │</b> 藤井 義巳
----------------------------------------------------------

## 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	ア 方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己 評価結果は公開してい るか	自己点検・自己評価結果はホームページ等で公開する。	平成 24 年度から、自己点検・評価報告書を公表している。		学校ホームページ
9-44-9 自己点検・自己 評価結果の公開に関す る方針は確立されてい るか	自己点検・自己評価結果の公開に 関する方針を確立する。	私立専門学校等評価研究機構が 作成した様式を基に、項目毎に報 告している。		
9-44-10 自己点検・自 己評価結果の公開に関 する方針は関係者に対 して正確に伝わってい るか	関係者に対し、情報を共有し、周 知徹底をはかる。	教育課程編成委員会、学校関係者 評価委員会の開催、管理運営会議 で検討を行い、周知徹底をはかる こととしている。		学校ホームページ

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
私立専門学校等評価研究機構の様式を基に、自己点検・評価を行い、その結果をホームページ等で情報公開している。	

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳

# 基準10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校では、次のとおり地域連携に取り組んでいる。	
1. 市民公開講座の実施	
定期的に健康に関する公開講座を学校において開催し、健康相談、鍼灸、	
柔道整復の啓発活動に取り組んでいる。	
2. 健康セミナーの講師派遣	
3. 高等学校におけるキャリア教育の実施	
4. 地域との連携をはかるため、近隣で構成されている工場等協議会に加盟	
することによる情報の共有	
5. 学生通学路の定期的な清掃活動	
6. 吹田市並びに大阪市と「津波災害または水害時における緊急一時避難施	
設としての使用に関する協定」を締結している。	

### 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機 関、企業・団体、およ び地域との連携・交流 を図っているか	各種関係団体、地域との連携を図る。	近隣で構成されている工場等協議会に加盟し、定期的な総会、研修会に参加。また、学園祭開催等により、近隣の自治会との交流をはかっている。		
10-45-2 学校の資源を 活用し、生涯学習事業 や附帯教育事業を行っ ているか	学校の資源を活用し、生涯学習事 業や附帯事業を実施する。	土曜日、日曜日等を利用し、施 設を開放し、研修会等を実施し ている。		
10-45-3 学校の施設・ 設備を開放するなど、 地域社会と連携してい るか	市民公開講座等の実施により、地域社会との連携を図る。	市民公開講座や学園祭等により、施設を開放している。更に、 吹田市からの依頼により、津波 災害又は水害時における緊急一 時避難施設として開放してい る。また、附属治療所を設置し ていることから、健康に関する 地域医療に取り組んでいる。		
10-45-4 諸外国の学校 などと連携し、留学生 の相互の受け入れ、共 同研究・開発を行って いるか		留学生に対する入試制度を設けているが、諸外国の学校との連携は専門学校としてはできていない。		

^{* 5.}完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イの現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を 行っているか	重要な社会問題が発生した場合において、教職員だけでなく、学生に対しても啓発活動を実施する。	教育に関する社会問題につい ては、都度授業等で対応する よう心掛けている。		
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	学校として判断する重要な社会問題 について、具体的に取り組む。	学校として重要な社会問題に ついては、管理運営会議で具 体的な検討を行い、教員会議 等で周知徹底をはかることと している。		

0.儿宝 1.//	7 は 7 世 7 (
点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)

最終更新日付	2018年7月31日	記載責任者	藤井 義巳